

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・中高年の男性客が増えている。また、以前は購入商品2、3個を手で持つ客が多かったが、最近はおかごを持って大量に買う客が多い。
		観光型ホテル（商品企画担当）	販売量の動き	・前年に比べ台風の影響が無かったため、稼働率も順調に推移した。現在のところ9月も前年の受注を上回っている。
	変わらない	通信会社（店長）	販売量の動き	・3か月前は夏季の新商品が出る前なので、買い控えが目立ったが、今月は家族での来店も多く、前月後半からの好調を維持し販売が好調である。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年の後半から消費の低迷は継続している。3か月前よりも大きく悪化しているとはいえないものの、改善もみられない。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・タスポ効果で来客数は大きく増加している。ただし、欲しいものがあれば買うが、余計なものは買わない。加えて安価な商品への移行が目立つ。このような傾向がずっと続いている。
		観光型ホテル（営業担当）	単価の動き	・5月のゴールデンウィークで取りこぼしたが、6月から順調に推移している。特に8月は客室単価の目標をクリアし、前年より2,000円ほどアップしている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・当施設の利用者数は、3か月前は前年同月比で112.6%、今月は8月24日現在で同106.4%とやや低い伸びとなっている。しかし、景気が悪くなっているとまではいえない。来園者の大半は家族旅行である。
	やや悪く なっている	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・本土のゴルファーが増加しているわけではないので、現在は各ゴルフ場でプレイ料金の引き下げによって、パイの奪い合い状況にある。例年この状況で何らかの打開策が必要であるが、なかなか妙案が無い。
		衣料専門店（経営者）	お客様の様子	・財布のひもが固く、気に入った物が2着あっても1着だけにするなど、必要な物だけを購入する傾向にある。ぜいたくはしないようにしている。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・オリンピックや甲子園でTV需要は盛り上がったが、中盤以降は厳しくなっている。
		家電量販店（従業員）	単価の動き	・オリンピック需要も期待したほど商品は動かず、最悪の結果となっている。購入客にしても価格重視で、幾らかでも安くとの思いから値切る。経済の悪循環が垣間見られた。
		その他専門店【書籍】（店長）	来客数の動き	・繁忙期にもかかわらず、来客数は前年比で5%減少している。買上点数もそれに伴い減少傾向にある。コミックの売上減が一番大きい。
	悪く なっている	その他のサービス【レンタカー】（営業担当）	単価の動き	・稼働件数は前年比で微増の状況にはなっているが、ガソリン代の高騰で低排気量の低価格車の予約が多く、稼働単価の下落につながっている。
		その他専門店【楽器】（経営者）	販売量の動き	・夏休み・夏祭り・旧盆で盛り上がり感は多少あったが、来客数、売上共に前年よりは減少している。
その他飲食【居酒屋】（経営者）		来客数の動き	・例年よりも、前半の来客数が悪い。都心部の店舗は旧盆後から盛り返して95%ぐらいにはなっているが、車を使う郊外型の店舗は例年の60%ぐらいで全く来客数が取れていない。	
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		食料品生産業（管理部門）	それ以外	・原料肉類、副資材類、光熱費、燃料費は継続して高騰し経営を圧迫しているが、それ以上に円高効果と輸入商品の売上増が貢献している。
	変わらない	通信業（営業担当）	取引先の様子	・仕事の案件依頼が増えており、何件かは契約締結に至っている。前月までは案件依頼はあるものの契約には至らなかった。
変わらない	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数及び契約件数がほぼ変わらず同じである。	

		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・原油価格高騰の影響で荷主（食品製造業や食品雑貨問屋、建築業）へ輸配送料金改定を申し入れるが、荷主も仕入れもしくは製造コストが上がっているため厳しい声が多い。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・改正建築基準法や大手不動産業者の倒産、建設資材の高騰に影響され、民間工事は大きく低迷しているが、一部の地区を中心に、公共工事の土木関連が堅調で、生コンやアスファルト用砂及び砕石の受注がある。
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・改正建築基準法の影響により、確認許可が遅れ販売量の低下につながっている。また原材料の高騰が収益を圧迫している。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・生活必需品の値上げは痛い。
	悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	-	-	-
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	・新規求人倍率は3か月前比で、0.17ポイント増加しているが、前年同月比では0.09ポイント減少し、有効求人倍率は3か月前比で0.01ポイント減少、前年同月比でも0.06ポイント減少している。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・公務員の採用試験と大手企業の採用試験が終わり、大学も夏休みに入っている。求人も小休止状態になっている。ただ、前年に比べると、県内求人が減少している。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・ある人材派遣企業より採用枠削減の要望があった。来年度は大手企業が採用手控えを見越して人員削減を始めている様子である。	
	悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・日本でも最大手の企業の定期求人がこの数年で初めて止まった。関連企業や子会社も今後の見通しが不透明な状況で、求人が激減している。それに伴い求職者の就職形態も他職種へ変更せざるを得ない状況になっている。